

神奈川県立新栄高等学校 第35回卒業式
学校長のことば

令和2年3月2日

35期生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。新型コロナウイルスによる感染症蔓延拡大の防止のための措置とはいえ、卒業式をこのように縮小して実施せざるを得ないことは非常に残念です。

本来であれば、皆さんの後方で皆さんの雄姿をご覧いただくはずだった保護者の皆様も残念がっていることと思います。この場にはいらっしやいませんが、これまで新栄高校の為にご支援ご協力を賜りましたことにつきまして、全教職員を代表して御礼申し上げます。

昨日現在で、新型コロナウイルスによる感染症には、横浜港に停泊していたクルーズ船での罹患を含め945名の方が罹患したと言われています。また、犠牲になられた方々のご冥福をお祈りいたします。

この感染症に効く可能性のある薬として話題になっているのが「アビガン」という薬です。富士フィルム富山化学という製薬会社によって新型インフルエンザに対応するために開発されました。アメリカのある機関がエボラ出血熱の特効薬になりうるとして名前を挙げたこともある薬です。

富山化学の研究者は、なんと2万回以上も失敗を繰り返し、16年の歳月をかけて開発に成功したそうです。そして、条件付きではありますが承認されています。

わずか数名の研究者が2万回以上失敗しても開発をあきらめなかったのは、新型インフルエンザで命を落とす人をゼロにしたいという信念です。その信念を持ち続けたからこそ開発に成功したのだと思います。

これからの人生で困難に遭ってもいつも前向きでいられるかは、信念を持ち続けられるかにかかっているのではないのでしょうか。現在起きているこの感染症もそうですが、これから 10 年後 20 年後に、現在では予想もしなかったことが起きると言われています。その時に前向きに対処できる人になってください。信念を持ち続けてください。

人は不平不満を口にすることがあります。そういう言葉は「吐く」言葉です。口偏に土と書いて「吐く」です。しかし、不平不満ばかり言っていては何もできません。吐くという漢字からマイナスを取り去ると口偏にプラスと書いて、「叶える」となります。願いや思い、信念を叶えるには、やはり口にする言葉はプラスのことばであるべきです。そうしていつも前向きに、願いや思いを実現する人になってください。

本校の校歌には「心豊かに たくましく 風に向かい 眉を上げよ」という言葉があります。「風に向かい眉を上げよ」は、苦しい困難にも背を向けず、立ち向かえという意味だと思います。ぜひそういう人になってください。

皆さんのこれからの活躍を大いに期待して、校長の言葉といたします。

神奈川県立新栄高等学校
校 長 小林 泰晴